

KATSUニュース

14. 3.16. 新

NO. 16号

発行人 吉井 亜弥 発行元 劇団いこら 吉備町庄684-32 (栗原省宅)

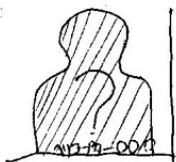
やった！全員集合出来ました。

3月10日初めてのクロスと一緒に全体稽古がありました。やっぱり初めての全体稽古はさんざんでした。特にお芝居の部分がだらだらと流れてしまったり、まわりに気を取られて集中出来なかったり、大変でした。前号にも書いたとおり、舞台裏でどんなにばたばたしても舞台上に立てば別の世界。はっきりと区別が出来なくてはダメです。舞台そででどれだけその雰囲気を保てるかも勝負です。後2週間ただけに不安になりました。さて初めての通し稽古は、今まで劇団員がずっとクロスの前で台詞を言ったり、歌を歌ったりしていたので、突然クロスが変わったのでみんなビックリしたところがありました。本番は中前さん、西浦さん、岡さん行きます。呼吸が違えば、時間も変わってきます。慣れて下さい。すでに衣裳が出来上がっている人は衣裳を着ました。普段の稽古着と違い、動きにくかったり、すーすーしたり、何処がどこないところがあったり、さまざまでした。衣裳を縫ってくださる方は連日昼夜を問わず頑張ってください。文句を言わないで大切に、管理して下さい。追伸：法月先生はすごい！あのてれやさんの山口君がおそろしいヤクザのように見える！あとは本人が台詞でどれだけ頑張れるかだ！

次々に、着々と衣裳が出来上がって来ています。途中で衣裳を着替える人は特に、何時どの時にどの服を着替えるか把握しておいて下さい。ゆっくり着替える時もあれば、急いで着替えなければならない時もあります。わからない事は必ず聞いて下さい。

祭りの鈴持ちは森口さん

祭りの踊りで太鼓や鈴が欲しいとずーっと思っていたところ。栗原先生がかたっぱしから家中の鈴を集めて大きな鈴を作ってくれました。演出からの注文は『祭りに出る人で一番リズム感のいい人に鈴を渡してくれ』という事だったので、皆が祭りを踊っている時にこっそりとテストを行ったところ、最年少の森口佳弥乃さんに決定しました。佳弥乃さんに一番目だって踊って頂く事になりました。太鼓はそででたたきます。皆リズムを守って踊ってね♥



名前 山口 真毅 (16才)
たけなみ 12月31日

双頭かいついたかばねがまじい

産卵地に 7-11-11 になって、黒死病の意味がなくなっちゃったことかかなしかった。

当日は、ガンバリたり



name: 釣場亮介
age: 17
hobby: ゴキウーエー

闇に生き
闇に死ぬ

それが黒夜

